

アシストスーツの農家実証試験を実施しました。

令和元年10月16日から10月30日まで、鹿屋市獅子目町で水稻を中心に農作業の受託をしている農事組合法人アグリサポート獅子目で、アシストスーツの実証試験を実施しました。

当組合でも、作業員の高齢化が問題となっており、乾燥した玄米が入った1袋30Kgのバインダー袋の積み下ろし作業も多く、身体への負担を心配しているとのことでした。

「今後、高齢化が進展するなかで、作業の軽労化に効果的なアシストスーツに期待している。」との感想をいただきました。

